



# 星が丘公民館

## 長寿命化改修工事に向けた取り組み



令和2年7月3日

相模原市 生涯学習課

公民館の改修等については、建設年度、施設状況、地域の実情等を踏まえ、地域や利用者の意見を反映したうえで、計画的に実施してきました。

今後、昭和50年代に建設され、大規模な改修等を行っていない公民館を主な対象とし、一般公共建築物長寿命化計画等に基づきながら、計画的に改修を実施していきます。

・星が丘公民館（昭和56年度建築） 鉄筋コンクリート造（965.76㎡）



【外壁】



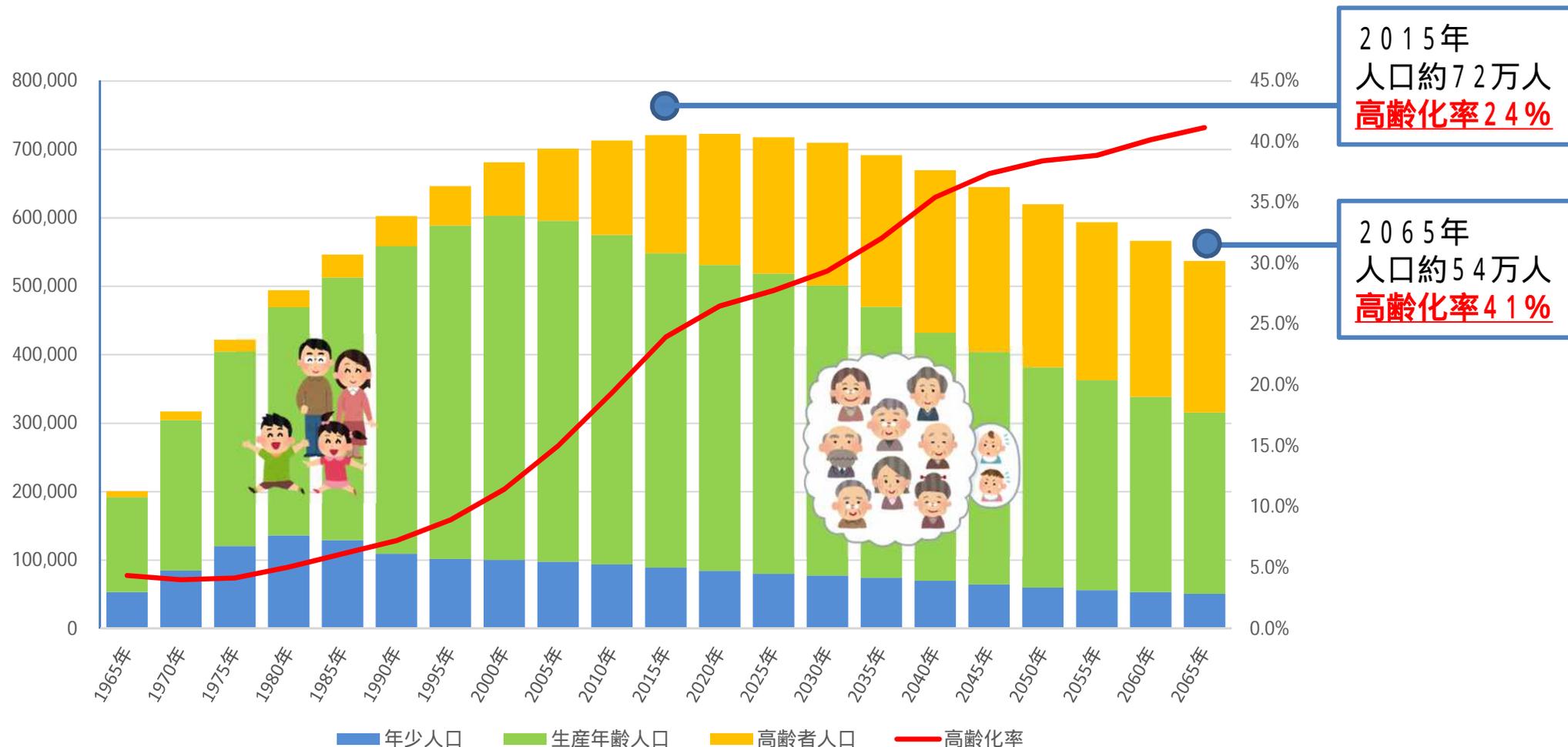
【小会議室】



【事務室】

# 相模原市の人口

- ・昭和40年代から人口が急増。
- ・2019年の72.3万人をピークに人口減少に転じる。
- ・2065年には、現在の3/4まで減少するとともに、高齢化率は40%を超える。



出典: 2015年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計(平成30年3月)

# 星が丘地区の人口

- ・人口は、今後一貫して減少すると推計。
- ・高齢化率は、市の平均を上回りながら一貫して上昇。

星が丘地区	人口	高齢化率	減少率
2015年	17,375人	24.5%	—
2065年	11,943人	42.0%	31.3%

相模原市	人口	高齢化率	減少率
2015年	720,780人	24.0%	—
2065年	536,958人	41.2%	25.5%

## 【歳入】

・高齢化や人口減少により、働き世代が減り、市税収入が大きく伸びることは期待できない。

## 【歳出】

・医療や介護などの社会保障費の増加、公共施設の老朽化への対応などにより、歳出の増加や若者世代の負担増が見込まれる



今後8年間の長期財政収支の仮試算を実施(令和元年9月末時点)したところ、**毎年度、多額の歳出超過が発生**し、累計で約768億円に達する見込み。

推計収支(億円)

令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	合計
60	76	88	122	75	100	113	134	768

仮試算の数値であり、今後変動する場合がある。

- ・本市の歳入規模に応じ**行財政運営の構造を抜本的に改革**する必要。  
「（仮称）行財政構造改革プラン」の策定を進める。

令和2年6月下旬策定予定から延期

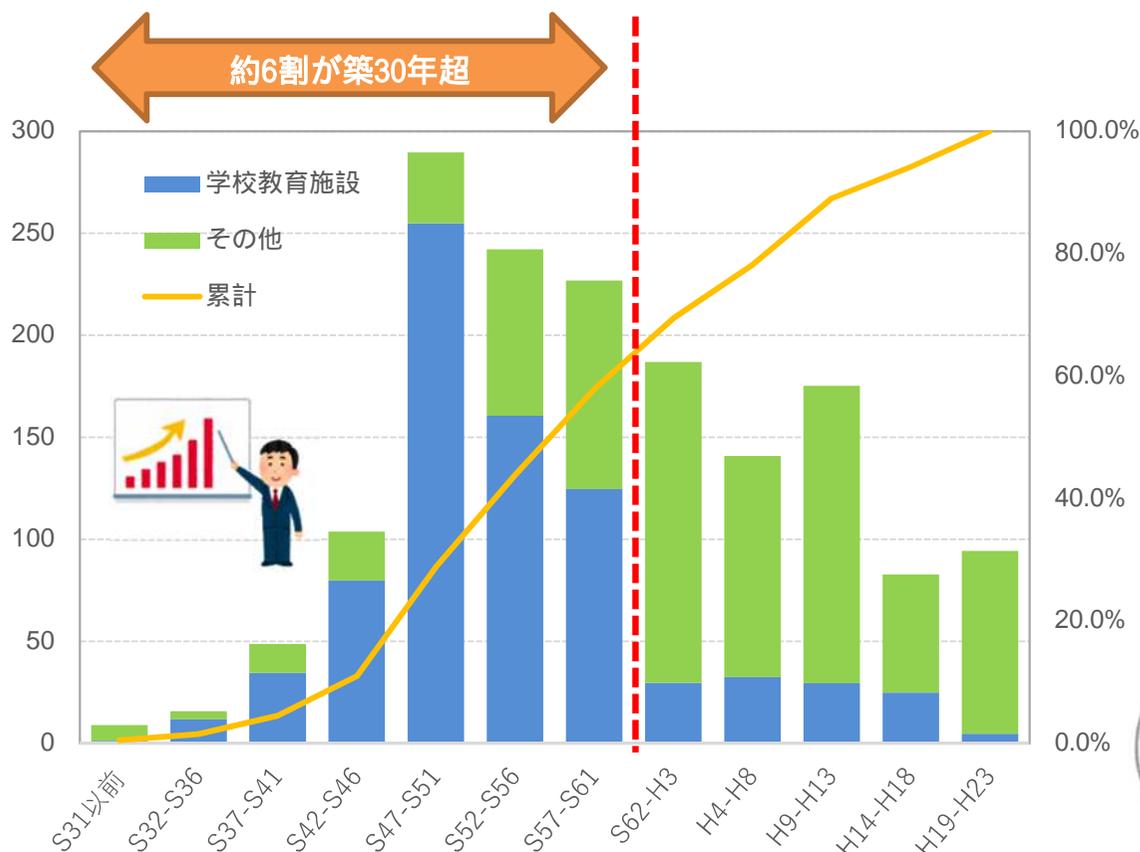
財政状況や長期財政収支の動向、  
今後の人口動態等を踏まえると、  
これまでと同様の行財政運営を続けた場合、  
持続可能な都市経営はおろか、  
いずれは  
**真に必要な行政サービスの提供すら困難**  
となることが見込まれます。



- ・近年、大規模な自然災害が発生
- ・「新型コロナウイルス」などの影響も

・次の世代に**過度な負担を残さず**、より**多くの方に喜ばれる**公共施設のあり方を考えるための取り組み（公共施設マネジメント）が必要。

【建設年度別に見た大分類別の建物延床面積の分布】



出典：相模原市公共施設白書（平成24年3月）



- ・昭和40年代から50年代に多くの公共施設を整備
- ・約6割の施設が既に築30年以上
- ・今後、一斉に建替え時期を迎える
- ・全ての施設をこれまでと同じように維持していくことは困難  
(ピーク時には約6割の施設しか改修・更新できない)

～コスト削減方策～  
施設総量の削減（今後30年間で20%の延床面積を削減）など



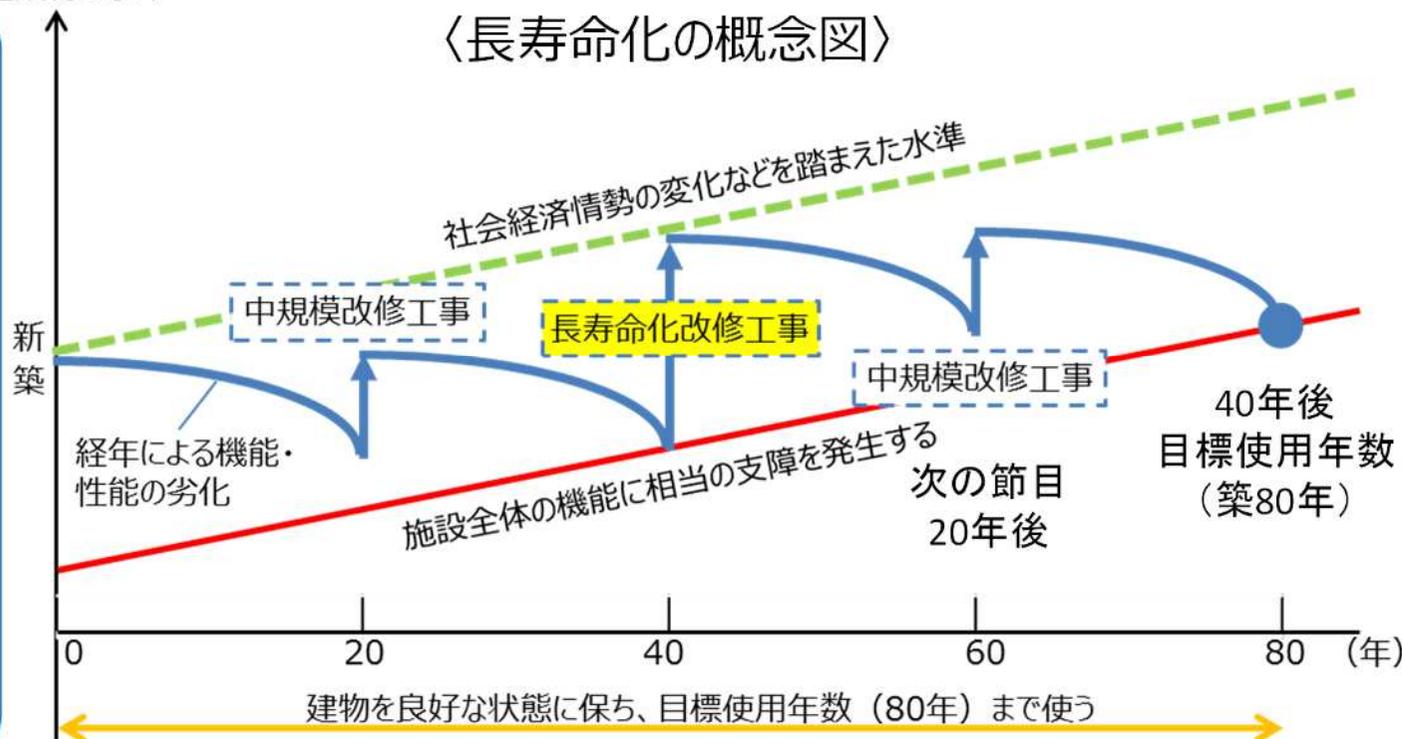
## 一般公共建築物長寿命化計画の策定（令和2年3月策定）

・公共建築物の長寿命化を図り、**計画的な維持・保全を行う**ことにより、財政負担の軽減と平準化を図り、安全で快適な公共建築物の供用を図る

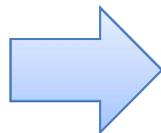
### 長寿命化の基本方針

- ・事後保全から予防保全への転換
- ・「目標使用年数」を設定し、計画的に改修・更新
- ・「目標性能水準」を確保し、多様化する市民ニーズに対応
- ・「ライフサイクルコストの縮減」を図り、財政負担の軽減や平準化

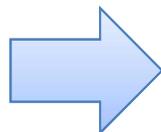
建築物の水準



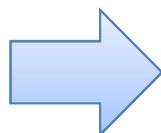
# 長寿命化改修工事のイメージ



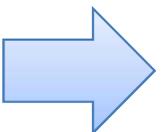
- ・外部仕上げ  
屋上防水の全面改修



- ・内部仕上げ（窓口）  
窓口開口部を広げ機能性の向上

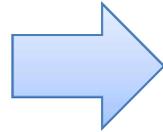


- ・内部仕上げ  
ニーズに合わなくなった和室を多目的室に転用

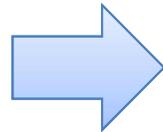


- ・トイレ  
乾式化、洋式化、段差の解消

# 長寿命化改修工事のイメージ



- ・機械設備  
高効率な機器、環境保全性、経済性



- ・機械室を倉庫に  
機会の小型化等で空いたスペースを倉庫に転用



- ・フリースペース  
予約をせず、自由に使える  
スペースの充実



- ・図書室を1階に  
利用者の増加、荷重の軽減

## これまでのまとめ

- ・人口が減少し、高齢化率がさらに上昇していく
- ・歳入の増加は期待できず、一方、歳出の増加が見込まれる
- ・全ての施設を維持していくことは困難に
- ・これまでと同様の行財政運営を続けた場合、  
真に必要な行政サービスの提供すら困難になることが見込まれる

**これまでの公民館の改修と違い、  
星が丘公民館改修検討委員会に求められること**

施設の増築はできないため、今ある建物の効果的な活用  
現在の利便性だけではなく、20年、40年先を見据えた検討

## 星が丘公民館振興計画（平成27年3月策定）

目指す姿 ～スローガン～

「地域みんなの いこいの場・仲間づくりの場」

こんな公民館をつくりたい～基本理念・重点目標

（１）出合い・ふれあい・仲間づくりの拠点に

子どもたちがつどい、勉強や会話が楽しめる場づくりに努めます。

予約がなくとも、誰でも気軽にミーティングできる場を提供します。

高齢者が憩い、交流できる場づくりを進めます。



星が丘地区らしい  
公民館づくりを考えよう

